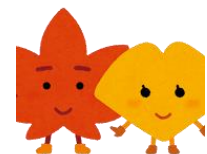




学校教育目標 「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる
～つながる力・まなぶ力・つくる力～

No.13

庄内西小学校だより



令和7年(2025年)10月15日発行

校長 黒木優一

カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

人権参観・人権講演会について

10月8日(水)の人権参観・人権講演会において、本校の人権教育の取り組みの一端をたくさんの方の保護者の方に参観していただけたこと、人権講演会において教職員と保護者の方が一緒になって子どもたちの権利について学ぶことができましたことにつきまして、学校長としてたいへんうれしく思います。ありがとうございました。

《人権参観について》

『仲間づくり』『ともに学びともに育つ』『命の教育』『ジェンダー教育』など、テーマは様々でしたが、どの学級も人権(人権課題)について考え、学びを深めることができたようです。本校では、人権教育につきましては、授業中に限らず、すべての教育活動において重点的に取り組んでおります。今後もすべての教育活動を通して、互いに人権を尊重し、差別意識を持たない児童の育成に努めていきます。



《人権講演会について》

今年度の人権講演会は『子どもたちの人権を守るために大人ができること』という内容で、【CAPみしま・大阪】の方(4名)に講演していただきました。CAPとは、子どもたちが『いじめ、痴漢、誘拐、性暴力など』といった様々な暴力から自分の心と体を守るための人権教育プログラムのことを指すそうです。「子どもの権利では、「安心・自信・自由」の人権概念があるかどうか



相談に来た子に対して、批判や指示をするのではなく、その子がどうしたいのかを大切にすることがわかった。

安心・自信・自由というワードが素敵だなと思いました。

子どもへの伝え方を考えさせられた。

「あなたはどうしたいの?」と大人も聞いてもらえたらうれしいので、子どもにもそういった気持ちで接したい。

しんどいことを「しんどい」と思うことが当たり前じゃない子もいるということがわかりました。

↓CAPみしま・大阪の方からいただいたリーフレットの表紙です

お部屋に貼って活用してください CAPは子どもの安心をひろげます

J-CAPTA

safe strong free

あんしん

じしん

じゆう

わたしたち子どもには
安心・自信・自由のけんりがあります

自信

安心

自由

おとなの
方へ
あなたができること

「聴く」ことは、だれでもできる心の手当

7つのアドバイス

- 1 否定せず、アドバイスせず、一生懸命聴きましょう。
- 2 「話してくれてありがとう」と伝えましょう。
- 3 自分を責めていたら、「あなたが悪いのではない」と伝えましょう。
- 4 「かなしい」「こわい」…、気持ちの言葉をくり返し共感して聴きましょう。
- 5 ひっくり返すようなことを言っても、まずは「あなたを信じるよ」と伝えてください。
- 6 「どうしていいかわからない…」と言ったら、「何かできることはあるよ」と一緒に考えてください。
- 7 将来の不安を訴えたら、「きっと大丈夫だよ」と希望が持てるように対話してください。

3つのポイント

- 1 大変な状況の時、子どもが普段と違う行動をとるのは当たり前のことです。叱ったり、責めたり、過剰に心配しないで、そんなときは、ゆっくりと時間をかけて、7つのアドバイスを使ってください。
- 2 子どものモデルはまわりのおとなです。おとなも大変な時は気持ちを聴き合い、助けを求めてください。
- 3 子どもは傷つきやすいだけでなく、驚くほどの回復力を持っていることを忘れずにください。

CAP
Child Assault Prevention